

神川小学校の児童と保護者による「よりよい学校を作るためのアンケート」(7月)

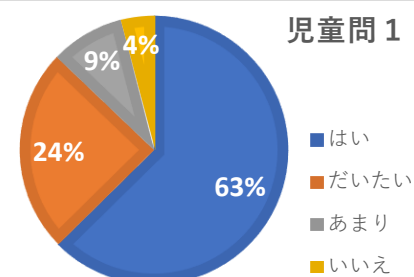
集計結果

保護者の皆様におかれましては、日頃から、本校の教育活動にご協力たまわりますこと、誠にありがとうございます。7月には、保護者の皆様にもアンケートご回答をいただきましてありがとうございました。

本校の児童にも「自分のふりかえりアンケート」を実施しました。今回の結果を2学期の学校運営、各学年・各学級運営に生かし、12月上旬に再度アンケートをとる予定であります。

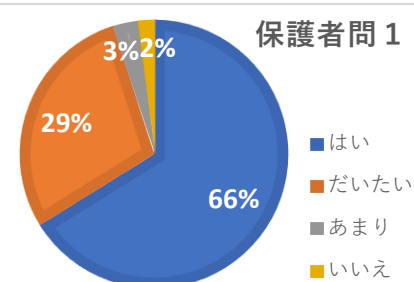
児童問1 「学校生活は楽しいですか」

87%の児童が肯定的な回答(「はい」63%、「だいたい」24%)を示しました。今年度の学校のめざす姿である「子どもも職員も保護者も地域の方々も、喜びややりがいを感じながらいきいきと活動する学校」の実現に向けて、おおむね良好な成果が得られていると考えられます。一方で、「あまり」「いいえ」と答えた児童が13%いることを重く受け止め、その児童の思いにもしっかりと向き合い、全ての児童がより一層楽しさを感じられる学校づくりに努めてまいります。



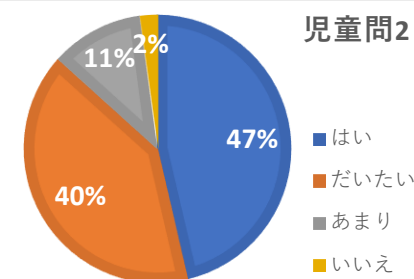
保護者問1 「お子さんは学校に楽しく行っていますか」

95%の保護者様から肯定的な回答(「はい」66%、「だいたい」29%)をいただきました。多くのご家庭に安心して通わせていただいていると感じる一方、子どもたちが学校で味わう楽しさや安心感をさらに広げていく重要性を再認識しております。これまでの授業改善やあいさつ運動、体力づくりの取り組みに加え、一人ひとりの児童に寄り添う声かけや居場所づくりをいっそう重視し、明日も通いたくなる学校を全教職員で築いていきます。



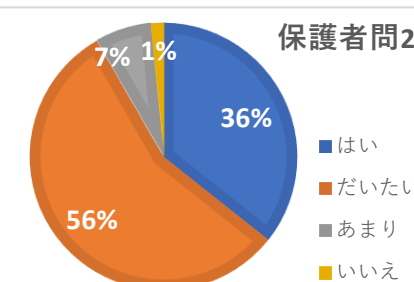
児童問2 「学習は楽しくわかりやすいですか」

87%の児童が肯定的な回答(「はい」47%、「だいたい」40%)を示しました。日々の授業における工夫や学びやすい環境づくりを通じて、多くの児童が学習に前向きに取り組んでいる成果であると受け止めております。一方で、「あまり」「いいえ」と答えた13%の児童の学びのつまずきや不安にもしっかりと向き合い、一人ひとりが「わかった」「できた」という実感をもてるよう、授業改善や丁寧な支援に努めてまいります。



保護者問2 「お子さんは、学校の授業で「楽しさ」「わかりやすさ」を感じていますか」

92%の保護者様から肯定的な回答(「はい」36%、「だいたい」56%)をいただきました。日頃の教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、学びに対する安心感をご家庭にお届けできていることを大変心強く感じております。今後も子どもたちが主体的に学び合える授業づくりや学習の見通しを持たせる工夫を進め、「もっと学びたい」という意欲を一層引き出せるよう、教職員一丸となって取り組んでいきます。

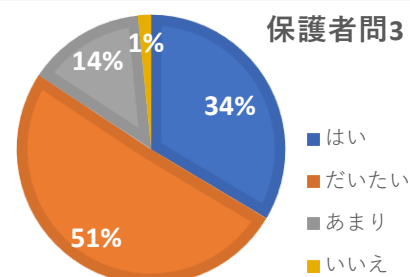
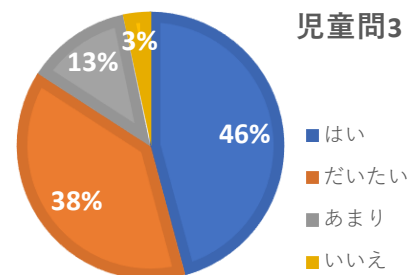


児童問3 「授業では自分の考えをもち、みんなで考えを出し合いながら学習していますか」

84%の児童が肯定的な回答（「はい」46%、「だいたい」38%）を示しました。授業において、自分の考えを整えたり、友達と意見を交わしたりする活動が定着してきている成果であると受け止めております。一方で、「あまり」「いいえ」と答えた16%の児童の思いにもしっかりと向き合い、誰もが安心して自分の考えを表現し、互いに学び合える場づくりと丁寧な手立てに努めてまいります。

保護者問3 「お子さんは、授業の中で自分の考えを持ち、自主的に学びに向かい、友だちと関わりながら学習を深めていると思いますか」

85%の保護者様から肯定的な回答（「はい」34%、「だいたい」51%）をいただきました。子どもたちが関わり合いながら学んでいる様子をご家庭でも温かく見守っていただいていることに感謝申し上げます。一方で、15%の「あまり」「いいえ」という声も真摯に受け止めております。全員が安心して意見を言える場の工夫や振り返りの充実を図り、子どもたち自身の問いや発想を大切にしながら「なるほど」「深まった」と誰もが実感できる授業づくりを、全教職員で丁寧に進めていきます。

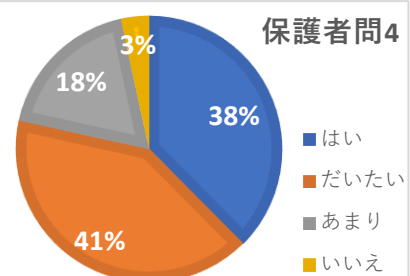
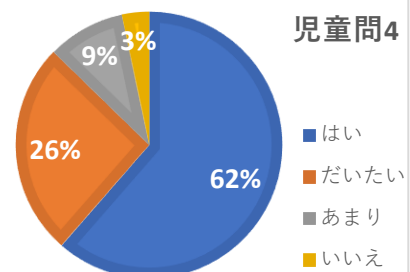


児童問4 「自分からあいさつしていますか」

88%の児童が肯定的な回答（「はい」62%、「だいたい」26%）を示しました。特に「はい」と回答した児童が過半数を超えており、日頃のあいさつ運動や児童会を中心とした取り組みを通じて、自分からあいさつをしようとする意識がしっかりと根付いている成果と受け止めております。一方で、「あまり」「いいえ」と答えた12%の児童の姿にも目を配り、気持ちのよいあいさつが響き合う温かい校風づくりに引き続き努めてまいります。

保護者問4 「お子さんは日頃からからすすんであいさつができていますか」

79%の保護者様から肯定的な回答（「はい」38%、「だいたい」41%）をいただきました。ご家庭や地域での温かいお声かけとご協力に感謝申し上げます。今後も、場面に応じた声掛けや職員の笑顔の関わりを大切にするとともに、児童会ともタイアップし、子どもたち自身があいさつの良さを互いに感じ合える取り組みを進めてまいります。家庭や地域、学校の中で、気持ちのよいあいさつが自然と交わされるよう、全校で取り組んでいます。

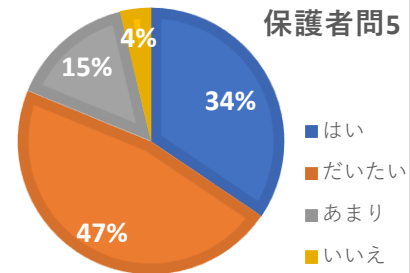
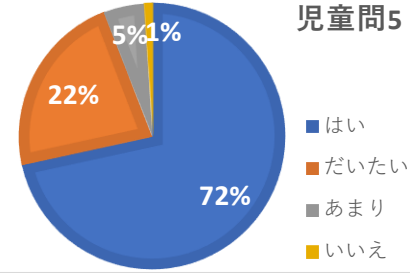


児童問5 「困った時に先生は話を聞いたり一緒に考えたりしてくれますか」

94%の児童が肯定的な回答（「はい」72%、「だいたい」22%）を示しました。特に「はい」と答えた児童が7割を超えており、日頃の関わりや相談ウィークなどを通じて、教職員に対する信頼感や安心感がしっかりと育まれている成果と受け止めております。一方で、「あまり」「いいえ」と答えた6%の児童の小さなサインや不安も決して見落とすことなくしっかりと向き合い、全ての児童が安心して思いを打ち明けられる環境づくりに努めてまいります。

保護者問5 「日頃より職員は、お子さんや保護者の皆様のお話を聞き、適切に対応していますか」

81%の保護者様から肯定的な回答（「はい」34%、「だいたい」47%）をいただきました。感謝申し上げますとともに、19%の回答に真摯に目を向けていきます。今後も全校で子どもたちを見守る体制を整え、「いつでも話せる」安心感を育ててまいります。また、子どもや保護者の皆様のお話やご意向にしっかりと心を寄せ、双方の思いを共有しながら、より丁寧かつ迅速な対応に努めます。

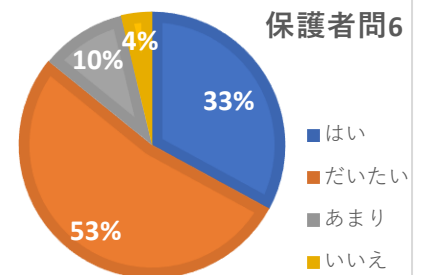
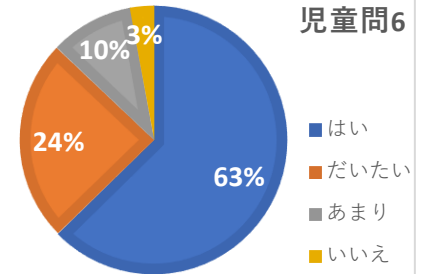


児童問6 「神川地区のことを学んだり、なかよし学級と交流したりする活動は楽しいですか」

87%の児童が肯定的な回答（「はい」63%、「だいたい」24%）を示しました。特に「はい」と答えた児童が6割を超えており、地域の皆様や保護者の皆様のご協力のもと取り組んできた「ふるさと学習」や体験活動を通じて、子どもたちが神川地区への深い関心や親しみ、楽しさを実感できている成果と受け止めております。また、今年度は異学年交流がさらに充実するように活動してきたことも良かったかと思えます。一方で、「あまり」「いいえ」と答えた13%の児童の思いにも目を配り、魅力ある学習の工夫に努めてまいります。

保護者問6 「お子さんは神川の特徴をいかした学習や異学年・地域・上田支援学校などとの交流活動に感心を持って取り組んでいますか」

86%の保護者様から肯定的な回答（「はい」33%、「だいたい」53%）をいただきました。日頃のご協力に感謝申し上げますとともに、子どもたちの活動を温かく見守っていただいていることを実感しております。生活科や総合的な学習の時間が本格化する二学期は、地域との繋がりをさらに深める絶好の機会です。子どもたちが学びをまとめ発信する活動を通して、地域への愛着や誇りをいっそう育めるよう、各学年で実感を伴う体験的な学びを工夫していきます。

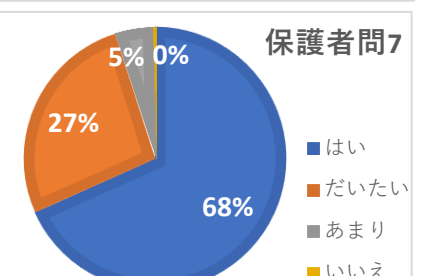
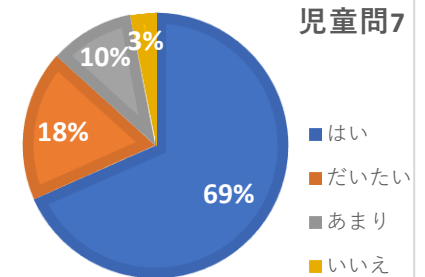


児童問7 「楽しんで体を動かしていますか」

87%の児童が肯定的な回答（「はい」69%、「だいたい」18%）を示しました。特に「はい」と答えた児童が約7割にのぼり、体育の授業や休み時間、日々の運動の機会を通して、楽しんで体を動かす習慣や意識が定着している成果と受け止めております。一方で、「あまり」「いいえ」と答えた13%の児童の思いにも目を配り、体を動かす心地よさを実感できる工夫に努めてまいります。

保護者問7 「お子さんは、楽しんで体を動かしていますか」

95%の保護者様から肯定的な回答（「はい」68%、「だいたい」27%）をいただきました。日頃のご協力に感謝申し上げます。「はい」が約7割に上ったことは、本校が重点を置く「生き生きと身体を鍛える【体】」に向けた体育学習の工夫や、生活の中で運動に親しむ場の設定が結実してきた証だと受け止めております。今後も運動の楽しさを通して、子どもたちが自らの心身の健康を整え、意欲的に体を動かせる取り組みを継続して進めてまいります。

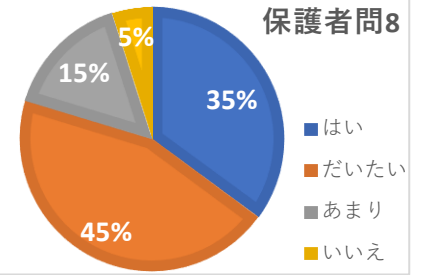
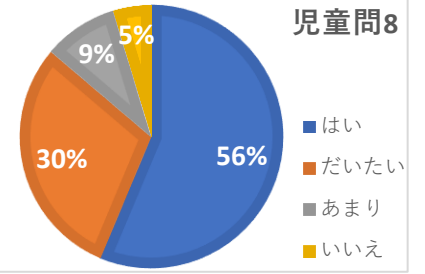


児童問8 「家でスマホやゲームをする時間やルールを守れていますか」

86%の児童が肯定的な回答（「はい」56%、「だいたい」30%）を示しました。過半数の児童が意識してルールを守ろうと取り組んでいる姿が見られます。一方で、「あまり」「いいえ」と答えた14%の児童の状況や思いにも目を配り、発達段階に応じたメディアリテラシーの指導を通じて、自分で生活リズムや利用時間をコントロールする力を育めるよう指導・支援に努めてまいります。

保護者問8 「お子さんは、家庭で決めたメディアの時間や使い方のルールを守れていますか」

80%の保護者様から肯定的な回答（「はい」35%、「だいたい」45%）をいただきました。昨年度二学期の回答と比べても成果が見られ、ご家庭での継続的な声かけやルールづくりに深く感謝申し上げます。メディアとの付き合い方は、学校とご家庭が一体となって向き合うべき大切な課題です。一学期は高学年の参観日にて親子メディア講演会を実施いたしました。今後も子どもたちが自分で利用状況を振り返り、自己管理能力を高めていけるよう、ご家庭と歩みを揃えて取り組んでいきます。

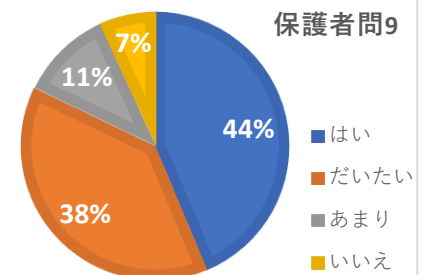
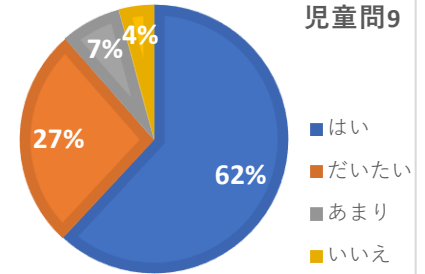


児童問9 「自分から進んで宿題をしていますか」

89%の児童が肯定的な回答（「はい」62%、「だいたい」27%）を示しました。特に「はい」と答えた児童が6割を超えており、日頃の積み重ねを通じて、自発的に学習に向かう習慣や意識が高まっている成果と受け止めております。一方で、「あまり」「いいえ」と答えた11%の児童の学びのつまずきや負担感にも寄り添い、それぞれの状況に応じた個別の声かけや達成感を得られる手立てを通じて、無理なく取り組める環境づくりに努めてまいります。

保護者問9 「お子さんは、自分から進んで宿題をしていますか」

80%以上の保護者様から肯定的な回答（「はい」44%、「だいたい」38%）をいただきました。日頃のご家庭での見守りや環境づくりに感謝申し上げます。宿題を単なる「義務」としてこなすのではなく、子どもたち自身が自分の課題に気づき、見通しを持って取り組む「学びの自己調整」の力を育むことが大切であると考えております。今後も基礎・基本の定着を前提としながら、興味や課題に応じた自立的な学習へとつながるよう、全校で指導・支援の工夫を重ねていきます。



保護者問10

「令和8年4月から今日までの間に、お子様が本校教職員から体罰、あるいは体罰ではないかと受け止められる行為を受けたことがありますか」

今回のアンケートにおきまして、「ある」との回答はございませんでした。学校におきましては、児童一人ひとりの人権を尊重し、体罰や不適切な指導の防止に継続して取り組んでおります。安全や人権に関わる指導においては毅然とした対応が必要な場面もございますが、常に子どもたちの思いに寄り添い、指導の意図がしっかり伝わる関わりを教職員全体で徹底してまいります。

<二学期の重点的な取り組み>

1. 学びの充実と授業改善（子どもたちの『問い』に発する授業づくり）

今年度、本校ではグランドデザイン「生き生きと考える【知】」の実現に向け、「子どもたちの『問い』に発する授業づくり」を研究テーマに掲げて授業改善に取り組んでおります。アンケートで児童・保護者ともに約9割の肯定的な評価をいただいた成果を土台に、二学期は以下の具体策を通して「主体的・対話的で深い学び」の実践を一層深めていきます。

- ・「なぜ」「知りたい」「やってみたい」を引き出す単元構想と『問い』の設定 子どもたちの疑問や興味・関心を起点とした導入を工夫し、自ら問いをもって粘り強く追究したくなる授業を展開する工夫をしていきます。
- ・対話で考えを深める場づくりとICTの効果的な活用 ペアやグループで意見を交流し合う場や端末（Chromebook等）を効果的に取り入れ、互いの考えに触れながら思考を深め、成果を工夫してまとめ・発信する力を育みます。
- ・個別最適な学びの保障（授業のUD化）と丁寧な伴走 ユニバーサルデザイン（UD）の視点を取り入れた環境整備や、児童が自分に合った学び方を選択・調整できる支援を工夫します。「あまり」「いいえ」と答えた児童のつまずきや不安に寄り添い、「わかった」「できた」という実感を大切にします。
- ・単元全体を見通した振り返りの確保 学びの見通し（ゴール）を共有し、毎時間の終わりに自分の学びの深まりや課題を振り返る時間を設定することで、自律的な学習姿勢を育みます。

2. メディアコントロール（自己管理力の定着に向けた具体的実践）

昨年度より高まりが見られるものの、日常の生活習慣に直結するメディアとの付き合い方は、継続的なアプローチが欠かせない重点課題です。子どもたちが自ら生活リズムや利用時間をコントロールできるよう、学校とご家庭が歩みを揃えた具体的な取り組みを展開してまいります。

- ・校内での振り返り指導：学級において短時間で利用状況を振り返る機会を定期的に設け、個々の目標の再確認と意識付けを行います。
- ・情報共有と連携の強化：アンケートフォーム等を活用して「各家庭での工夫例」を収集・紹介し、保護者同士で知恵や悩みを共有できる場をつくれます。
- ・メディアコントロールウィークの実践：設定期間を通じて、児童自身がめあて意識を持って生活習慣を見直せるよう学校・家庭で連動して取り組みます。

多くの肯定的なご意見をいただきましたが、「はい」の回答はまだ十分とは言えませんでした。いただいたご意見を踏まえ、今後の取り組みをさらに充実させ、「あまり」「いいえ」の回答が減り、「はい」とお答えいただける項目が増えるよう努めてまいります。